

## 2010.4 ネガティブを吹き飛ばす“超”繁盛の法則 **実践事例** 紹介

第5号は・・・『株式会社 クーロンヌジャパン』(茨城県) 店舗売上高平均1億円超。繁盛パン店を支える田島氏の「人づくり」に注目！

### ◇会社概要◇

■社名	株式会社 クーロンヌジャパン
■店名	クーロンヌ、ピッツェリア
■本社	茨城県取手市戸頭 2-12-21
■設立	1994年(平成6年)10月
■資本金	1,000万円
■代表	田島浩太さん
■売上高	9億6千万円(2009年度)
■従業員数	約50名(パート・アルバイト約150名)
■店舗数	パン店7店舗 イタリアンレストラン1店舗
■HP	http://www.couronne.co.jp



### ◇店舗紹介◇

パン店7店舗 / イタリアンレストラン1店舗



## 田島社長の3つの魅力

### ◇とにかく素直。興味があるものはトコトンやる！◇

●良いものはすぐ取り入れる。どんどんマネをする！

- 「**鬼と金棒**」・・・クーロンヌの人材育成に関する考え方  
⇒四国「ネットヨタ南国」横田社長の影響を受けた考え方
- 「**クーロンヌ憲章**」・・・クーロンヌ社員の行動指針／考え方  
⇒福島正伸氏の勉強会で学んだ“生き方・考え方”
- 「**親切が先、商いは後**」・・・クーロンヌ経営理念  
⇒「オートウェブ」廣岡氏の講演から影響を受けた考え方



●勉強好き

- ◇社会人になってから本格的にパンの勉強  
⇒都内数店舗パン職人の修行(ドンゴ等)
- ◇創業時、モチベーション向上や経営学を積極的に勉強  
⇒クーロンヌ「強者塾」(社長・店長対象)にて創業以来16年間同じ教材を使って勉強会を開催
- ◇SMI、倫理法人会、中小企業家同友会にて自分磨き  
⇒生き方、考え方、意欲、仕事への姿勢

### ◇“無欲でマイペース”の裏に強い「芯」あり。根っこは「喜んで頂く事」の為に。◇

●「なんとなく」

・高校卒業後、何となく就職した給食工場パンづくり ⇒喜んでもらえる「喜び」

●パン店開業時からの信条

- 「**喜んで**頂ける事が**自らの喜び**」=お客様の為であれば何でもする！
- EX)・新商品開発より、定番商品の品質向上を重視 ⇒目の前のお客様を大事にする！
- ・お叱りはがき(アンケート)でお客様目線の店づくり／・コーヒー無料／・ひざ掛け無料貸与

●お金儲けの為に店を出しているわけではない

- ・**感動**を作り**感動**を売ること  
⇒クーロンヌの“志”事はパンを作り、パンを売ることではない
- ・「**親切が先、商いが後**」の精神  
⇒結果、売上平均**1億円超**の店づくり
- ・新規出店 ⇒自らの可能性にチャレンジ
- ・新しい業態 ⇒新たなフィールドで感動創造

根っこは強く高い  
**「志」**

### ◇人を「活かす」人に「任せる」の達人！◇

●田島氏の自己分析

- ・昔から先頭に立って何かをやるタイプではない
- ・頼れる友達の横にいるのが心地良い
- ・リーダーシップを取るのは今でも苦手  
⇒「人に任せる」「人に頼る」(田島社長曰く、基本は怠け者)  
それが**最大の強み** ⇒仲間が増える

◇開業時の資金繰りのエピソード◇

- ・地元の知人が資金調達の指南役に ⇒借り方、手続きを補助。最後は保証人に迄・・・
- ⇒必要な時に必要な人が現れる。自分に足りないものは、誰かが補ってくれる

●家族で創業したパン店も今では7店舗

- ・現在の店舗は全て**独立採算制**で運営  
⇒店舗運営をスタッフに完全に委任。店ごとの個性を活かす  
(正社員・アルバイトの採用、評価、成果配分／販促／新商品開発／イベント実施)

**POINT① 任せることで社員のモチベーションアップ！**

- ・任される=期待・責任に応えようとする姿勢、意欲 ⇒日々の努力・アイデアの創造

**POINT② フォローアップは必要最低限**

- ・「任せる」には「信じる」事が重要。必要なことは言い続け、任せるところはとことん任せる

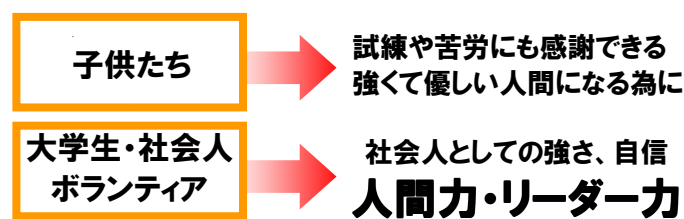
## 田島社長のライフワーク ～100km徒歩の旅プロジェクト～

●100km徒歩の旅とは？

- 小学生4～6年生が大学生・社会人ボランティアと共に100kmの道のりを歩きぬく体験学習事業。
- ・今年で4回目／・夏場4泊5日で実施
- ・茨城県常総地区の子供が対象



●生きる力を育む



**世代を超えた人財育成**

●きっかけ

- ・常総青年会議所のメンバーで、既に同プロジェクトを行っていた福岡青年会議所を視察。本当に意味のある取り組みと感銘。「今自分がやるべきことは、こういうことなのではないか?」。視察を同行した友人は、あまりのプレッシャーに地元での開催を断念。「自分がやるしかない!」とプロジェクトの発起人として活動開始。

●チーム作り

- ・ボランティアスタッフ  
⇒筑波大学を中心とした関東近郊の大学生
- チーム作りのPOINT 理念の共有**
- ・何の為にプロジェクトの一員として活動するのかを徹底的に伝え、学生のモチベーションを向上  
⇒各個人で**目標を設定**
- 田島氏はフォローアップのみ。  
「やる気」にさせて**後は任せる**  
⇒学生たちの自主性重視 チームワークの構築

●田島社長にとっての活動意義は・・・



- ①自らの人間力を高める
- ②クーロンヌ社員へメッセージ
- ◇当プロジェクトの率先垂範を通してクーロンヌが目指す **生き方、理念、思想**を共有
- ◇プロジェクトも第4回を向かえ組織も安泰。更なるステージアップと人間力向上を目指し、次なる「やるべきこと」を模索中。